

砂本 忠男(すなもと ただお)先生のプロフィール

- 勤務先 砂本内科
- 経歴 広島大学病院第一内科助手 消化器等を主に広島市立病院内科医長を経て開業。
- 専門 内科一般、漢方全般



◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

- ①大学医局(広島大学第一内科)時、友人の祖父が「日本医学史」等を書いた富士川游氏で、二人游氏研究を始めたことから。
- ②本格的には昭和50年頃に小川新先生に学びはじめた。
- ③鹿野美弘先生(北海道薬科大学→富山大学)にも個人的にいろいろご教授いただいている。

◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

外来の1/2は漢方オンリー、今は2/3位までに上がっているだろうか？新薬との併用は少ない。殆どの人に効果をあげていると自負している。

アトピー性皮膚炎の若い女性から「皮膚科の先生に10人くらいは診てもらったが、内科医の砂本先鋭の方がよほど皮膚科の先生より専門的。」と何人かの方に言われている。

◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

半分くらいであろうか？

◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

10年後は、今の2倍か3倍の処方が出されるであろうと思っている。沢山のドクターが漢方を処方されているが、間違っていると私が思う処方も多い。もっと勉強して困っている患者さんを助けてほしい。

◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なされたことがありますか

多々ある。ジュンコウ補中益気湯FG細粒7.5g[㊤]や六味丸は毎日飲んでいる。その他、短期間飲んだ処方は数知れず。(ほとんどの薬は味見している)

◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

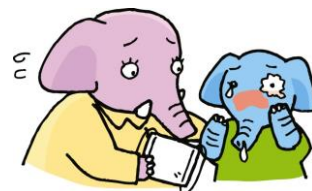
すべては患者さんのために！



◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

漢方治療もすべての医療に万能ではないが、試みて損はないし、多くの人に有効である。

まずは良い漢方医に相談すること。



◆座右の銘、好きな言葉などありましたら教えてください

忠＝真心を尽くすこと

私の名前の忠男の忠は、仁義八行から選んだと教育者・宗教学者・哲学者である父から聞いている。

(私の子や孫は、全員、仁義礼智忠信孝悌の中から一字選んでいる)

◆その他、ご意見ご感想などありましたらお聞かせ下さい

- ・同じ方剤なのに、保険病名がメーカーで皆違うのは、如何なものか。
- ・保険適応になく、成書にのっている病名すべてを保険病名として貰いたい。
むしろ保険病名として使わせて貰いたいと思う

注意：先生へのインタビューは、当会が2009年10月に行った内容です。